禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B89

「中央職業能力開発協会編」

令和５年度 技能検定
２級 フラワー装飾 学科試験問題
（フラワー装飾作業）

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 試験中は、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　アールヌーボーは、植物の抽象化によって造形された様式である。

2　イースターは、キリストの復活を記念する祭日である。

3　ユリの花弁を集めて白いダリヤのように似せて作ったものを、ユリメリアという。

4　アレンジメントのバーティカルは、水平形であり、ホリゾンタルは、垂直形である。

5　一般財団法人日本色彩研究所が開発したPCCSは、配色体系の一つとして利用されている。

6　吸水フォーム付きのブーケホルダーでブーケを製作するときは、ワイヤリングをすべきではない。

7　吸水フォームは、使用する花材にかかわらず、金網と併用してはならない。

8　アレンジメントに使用するカーネーションの茎を補強する目的で行うワイヤリングは、ソーイングメソードである。

9　コサージの製作において、ステムの集中点は、メカニカルフォーカルポイントと呼ばれる。

10　キャスケードブーケの場合、機構上の焦点が前から多少見えてもよい。

11　ホリゾンタルのアレンジメントは、卓上装飾に適している。

12　片面のアレンジメントのバック処理において、ファンデーションが見えていてもよい。

13　生花のデコレーションとは、水を使用しないアレンジメントのことである。

14　プリザーブドフラワーは、水分をスプレーすることで、品質を美しく長期間維持できる。

15　ローダンセやラベンダーは、ドライフラワーに適している。

16　発泡スチロールは、吸水性に優れている素材である。

17　ドライフラワーの作り方には、自然乾燥法と人工乾燥法がある。

［A群（真偽法）］

18　花の装飾作業において、ナイフやはさみを主に使用するが、ペンチ、のこぎり及び金づちを使用することはない。

19　はさみを使用して茎を切るときは、直角に切るよりも斜めに切る方がよい。

20　日本における植物の水平分布は、熱帯、暖帯、温帯及び寒帯の4つの植物帯に分けられる。

21　種子から生育し、1年以内に開花・結実して一生を終える植物は、一般に、一年草と呼ばれる。

22　エビネとサギソウは、いずれもユリ科の植物である。

23　ラークスパーとデルフィニウムは、いずれもキンポウゲ科の植物である。

24　カーネーションとリンゴを密閉した狭い部屋に置くと、カーネーションの花が早くしぼんでしまうことがある。

25　ブルースターやユーフォルビアから出る液体により、皮膚に炎症を起こすことがある。

［B群（多肢択一法)］

1　日本で西洋のフラワー装飾が取り入れられた時期として、正しいものはどれか。
　イ　明治
　ロ　大正
　ハ　昭和
　ニ　平成

2　アドヴェントリースに使用する材料として、適切でないものはどれか。
　イ　マツ
　ロ　ウメ
　ハ　ツゲ
　ニ　トウヒ

3　次のうち、花びらを重ねたブーケはどれか。
　イ　サンバースト
　ロ　ビーダーマイヤー
　ハ　ヴィクトリアンローズ
　ニ　ノーズゲイ

4　シンメトリーでないアレンジメントパターンはどれか。
　イ　ホリゾンタル
　ロ　ピラミッド
　ハ　エルシェイプ
　ニ　ドーム

5　次のうち、黄金分割の基本的な比率はどれか。
　イ　8：6：3
　ロ　8：5：3
　ハ　7：6：3
　ニ　7：4：3

6　ガーベラ(中輪)のインソーションメソードに用いる日本製のワイヤの太さとして、一般的なものはどれか。
　イ　#10 程度
　ロ　#20 程度
　ハ　#28 程度
　ニ　#32 程度

［B群（多肢択一法）］

7　ブライダルブーケをナチュラルステムのラウンドに製作するときの花材として、一般的でないものはどれか。

イ　バラ
ロ　キングプロテア
ハ　ガーベラ
ニ　マーガレット

8　次のうち、男性用の花の胸飾りはどれか。

イ　アンクレット
ロ　アソーテッド
ハ　ブレスレット
ニ　ブートニア

9　次のうち、花嫁の髪に飾るものはどれか。

イ　リストレット
ロ　ショルダーコサージ
ハ　ウエストコサージ
ニ　ヘアオーナメント

10　次の花の形態とその代表的な花の組合せとして、誤っているものはどれか。

	形態	花
イ	ラインフラワー	リアトリス
ロ	マスフラワー	カーネーション
ハ	フィラーフラワー	ストレリチア
ニ	フォームフラワー	アンスリウム

11　葉や枝の形態が、ライングリーンでないものはどれか。

イ　モンステラ
ロ　タマシダ
ハ　サンスベリア
ニ　ユーカリ

12　次のうち、180°展開のデザインでないアレンジメントはどれか。

イ　エルシェイプ
ロ　コウン
ハ　ファン
ニ　トライアンギュラー

［B群（多肢択一法）］

13　ブティックの開店祝い用アレンジメントを床に直接設置する場合、製作時に特に留意すべき内容として、一般に、当てはまらないものはどれか。

イ　置き場所によって、通路を通る者に枝などが引っかからないように考慮する。
ロ　遠目が効くように多種多様な小花を主体にして、色を散らして配色し極彩色にする。
ハ　立つ人の目線を考えて、花や色の配置についても考慮する。
ニ　花粉が衣服につかないように、ユリなどの花粉はあらかじめ取り除いておく。

14　生花を使用するデコレーションに関する記述として、適切なものはどれか。

イ　装飾場所の温度や湿度は、花持ちに影響しない。
ロ　装飾期間やメンテナンスなどを考慮して花材を選ぶ。
ハ　デコレーションの目的に、装飾内容を考慮する必要はない。
ニ　デコレーションに、ネットや剣山は使用できない。

15　ハロウィンでよく使用されるシンボルはどれか。

イ　パンプキン
ロ　たまご
ハ　星
ニ　ハート

16　ドライフラワーの製作方法として、誤っているものはどれか。

イ　乾燥剤を使用する。
ロ　直接、火であぶる。
ハ　電子レンジを使用する。
ニ　自然乾燥する。

17　卓上装飾に流木や枯木を使用するとき、それらを固定するための金具として用いないものはどれか。

イ　くぎ
ロ　かね尺
ハ　かすがい
ニ　ねじ

18　次のうち、一年草はどれか。

イ　ヒマワリ
ロ　シャクヤク
ハ　グラジオラス
ニ　ラナンキュラス

［B群（多肢択一法）］

19　文中の(　　)内に当てはまる語句の組合せとして、適切なものはどれか。

植物が栄養生長から生殖生長に変わる初頭の日長を基準として、それよりも日が長くなると花芽分化するものを(　A　)植物といい、(　B　)などがある。

	A	B
イ	長日	秋ギク
ロ	短日	カンパニュラ
ハ	短日	ペチュニア
ニ	長日	ハナショウブ

20　次のうち、キク科に属さない植物はどれか。

イ　ダリア
ロ　リアトリス
ハ　ストケシア
ニ　ラナンキュラス

21　次のうち、ヒガンバナ科に属さない植物はどれか。

イ　アマリリス
ロ　ユーチャリス
ハ　ユリ
ニ　スイセン

22　次のうち、花冠の形がつりがね形のものはどれか。

イ　ナデシコ
ロ　アサガオ
ハ　ワスレナグサ
ニ　ホタルブクロ

23　次のうち、バラ科に属さない植物はどれか。

イ　コデマリ
ロ　ヤマブキ
ハ　ユキヤナギ
ニ　ウメモドキ

24　草花の肥料に関する記述として、誤っているものはどれか。

イ　油かすは、有機質肥料である。
ロ　化成肥料は、無機質肥料である。
ハ　肥料の三要素は、窒素、りん酸及びカリウムである。
ニ　りん酸肥料は、根の発育を促進する。

［B群（多肢択一法）］

25　水揚げに使用する次のうち、素手で取り扱わない方がよいものはどれか。

イ　塩素(家庭用漂白剤)

ロ　ハッカ油

ハ　無水エタノール

ニ　焼明礬（やきみょうばん）